

# 良知駿一 活動報告

第6号



## ご挨拶

いつも大変お世話になっております。浜松市北区選出の県議会議員の良知駿一です。  
新型コロナウイルス感染症の第5波が落ち着きを取り戻したものの、第6波やインフルエンザの流行が危惧されております。引き続き、手洗いうがい等の基本的な対策をお願いいたします。今回のご報告は9月定例会までになります。ご一読いただければ幸いです。

## 前回（第4号、第5号）の活動報告からの議会活動

今回のご報告は第5号（縮小版）の内容も含んだものとなります。第5号につきましては私のWebサイトよりダウンロードできます。

### 静岡県の予算概要

前回のご報告から4・5月臨時会、6月定例会、8月臨時会、9月定例会があり、それぞれ一般会計補正予算の編成がありました。

補正月	金額	目的
4月	69億8,400万円	県内観光促進
5月	331億6,800万円	牧之原市等突風被害への対応、医療提供体制の整備等
6月	275億6,200万円	熱海市等大雨等被害への対応、新型コロナ蔓延に伴う協力金等
8月	212億8,500万円	事業者支援、医療体制の強化、生活困窮者への支援等
9月	214億2,700万円	7月1日からの大雨等被害への対応、新型コロナウイルス感染症対策等
【累計】 1兆4,238億2,600万円		

予算の概要



## 事務所のご案内

〒431-1304  
静岡県浜松市北区細江町中川7172-698  
ラトゥール101

静岡県議会議員

らちしゅんいち  
**良知駿一事務所**

連絡先  
TEL : 053-523-7400  
FAX : 053-523-7401  
Mail : rachi0814@gmail.com  
URL : https://rachi-shunichi.jp/

PROFILE  
1982年 ● 8月14日生（浜松市）  
1995年 ● 気賀小学校 卒業  
1998年 ● 細江中学校 卒業  
2001年 ● 浜松商業高等学校 情報処理科 卒業  
2005年 ● 静岡大学 情報学部情報科学科 卒業  
2007年 ● 静岡大学大学院 情報学研究科 修了  
● 浜松市内のITベンチャー企業に就職  
2010年 ● 浜松市消防団北区支団細江第4分団 入団  
2015年 ● 浜松市消防団北区支団細江第4分団 分団長就任  
2017年 ● 浜松市消防団北区支団本部 大規模災害教育隊 入隊  
2019年 ● 静岡県議会議員 初当選（浜松市北区選出）  
得意分野：情報通信技術・地域防災  
趣味：バドミントン・ジム通い・ギター  
音楽鑑賞（ジャズ・山下達郎・スティービーワンダー）

## 委員会

5月臨時会におきまして私は総務委員会の副委員長に選任されました。  
総務委員会は常任委員会の一つで、知事直轄組織、経営管理部、出納局、選挙管理委員会、人事委員会、監査委員を所管しています。

審議の内容としては県全体の予算や計画、他の部局の業務に当てはまらないようなものです。  
幅広い内容が審議されますが、私が特に審議していきたいことは県のいわゆる**デジタル施策**に関してであります。

国のデジタル庁設置の流れと同様に、今年度から県の知事直轄組織内に**デジタル戦略局**が設置されました。デジタルを活用すると、距離的・時間的・身体的など、様々なハンディキャップを乗り越えることができ、浜松市北区のような中山間地を抱える地域には欠かせない技術です。

この「デジタル」については私が長年携わってきた分野であり、情報学に根ざした提言や指摘は他の議員にはできないことであるため、積極的に委員会で発言していきます。



## 委員会での質問の一部

### Q・要望が良知、Aが当局

**Q** **【6月定例会】**  
「『ふじのくに DX 推進計画（仮称）』の策定」の基本理念に、「誰にも優しく」とあるが、具体的にどういう手段を用いて実現していくのか伺う。

**A**  
デジタルになじめない人々を取り残さないよう、国が支援する携帯ショップでのスマホ講習会を広報・周知することや、県が抱えるICTエキスパートを市町や各種団体の講習会へ派遣するなど、デジタルを身近に感じてもらえるような取組を進めていく。  
市町に対しても、デジタル化に取り残される市町がないように、行政経営研究会ICT利活用部会を通じて支援を行っていく。

**Q** **【9月定例会】**  
行政のデジタル化の課題で、ユーザー目線でのインターフェイス設計の視点が欠けているように感じる。顧問団にユーザーインターフェイスの専門家を加えるべきではないか。  
※ユーザーインターフェイス：ユーザー（使用者）とコンピューターとのインターフェイス（接点）のこと。接点には画面の見やすさや操作方法などがあげられる。

**A**  
ユーザーインターフェイスについては、国の開発したアプリが使いづらいといった声が聞かれる点からも、その重要性を認識している。今後、顧問の専門分野以外の知見を必要とするケースが発生した場合には、顧問の人脈を活用して、必要な専門人材を紹介していただき、対応していく。その上で、顧問として常時お願いする必要があると判断する場合には、顧問団への追加を検討する。

## 7月1日からの大雨について

およそ7月1日からの大雨は静岡県に対して大きな傷跡を残しました。特に県東部における橋の崩落や土石流災害は日本中に衝撃を与えました。県においても被害対応のため予算を6月定例会にて編成したところです。

### 浜松市北区への影響と対応

県東部への被害は大きなものでしたが、浜松市北区でも危険な状況でした。静岡県が提供しているサイポスレーダーという水防用のシステムによると、三ヶ日町を流れる釣橋川で一時的に氾濫危険水位を超える水位となっていました。

釣橋川は地形的な特徴もあり、以前から警戒情報の多い河川ではありました。

天候が落ち着き次第、釣橋川流域の避難指示の出された自治会長様に状況や要望をヒアリングし、整理したものを会派の県知事要望に盛り込み、さらに当局にもその情報を伝えました。結果、応急処置として釣橋川の国道301号下流における樹木伐採、また釣橋川カメラの視認性を向上させるため現状のものから新しいものに置き換える（半導体不足により入手時期未定）こととなりました。



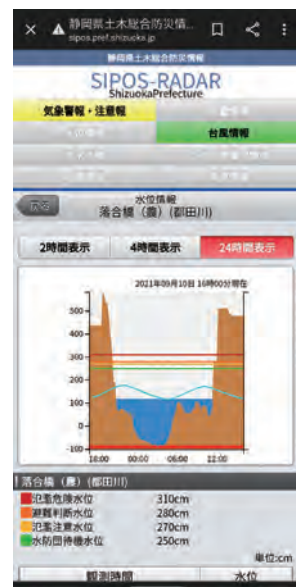
### サイポスレーダーについて

上記で触れたサイポスレーダーは河川の状態をリアルタイムに知るために有用なものです。浜松市北区は釣橋川だけでなく、都田川や井伊谷川などの2級河川も流れています。

今後も以前からは考えられないような雨が降る可能性があるため、ご自身の身を守るためにもこのようなシステムを活用していただければと思います。

サイポスレーダーについて

右のQRコードからご覧ください。



## 消防団・操法大会のあり方の見直しについて(総務省の検討会より)

総務省消防庁の有識者検討会が今年8月に公表した最終報告書において、操法大会のあり方などを見直すよう提言がされました。

操法とは、消防用機械器具の取扱い及び操作のことをいい、大会ではその技術を競います。しかしながら、全国的に従来の操法大会のあり方については疑念の声があがっており、国会、また私も現役消防団員であるため令和元年度の一般質問にて取り上げました。

従来の操法大会における課題は、「操法自体の必要性は認められるものの、大会訓練が時間的・体力的に団員の大きな負担となっており、実災害では用いられない大会パフォーマンス的な所作の訓練が大きなウェイトを占めている」というものです。

私たちの地域は南海トラフ巨大地震等の大規模災害が懸念されており、仮に被災した場合は警察消防だけではとても対応できず、地元消防団の力が必要となってきます。消防団OBの方から、操法大会を通じて連帯感が高まったというお話を伺うこともあり、そういった側面も効果としてあるでしょう。現在消防団員数は減少の一途を辿っており、これを食い止めるためにも、まずは現役の団員の方々に納得いただける内容の消防団活動に変えていかなければならないと考えています。



消防団員の処遇等に関する検討会

右のQRコードからご覧ください。



## お知らせ

ラジオで県政情報を発信しています。

番組名：イブニングサテライト 放送局：FM Haro! (76.1MHz)

放送枠：土曜 夕方 5:00 ~ 5:30 担当：1/29, 2/19, 3/26, 4/30